

# 平成23年度 【 学園研究費助成金<B> 】 研究成果報告書

学部名 生活科学部

フリガナ アベ ジュンコ  
氏名 阿部順子

研究期間 平成23年度

研究課題名 生活環境デザイン学科学生の資格取得実態とキャリアデザインに関する研究

## 研究組織

	氏名	学部	職位
研究代表者	阿部順子	生活科学部	准教授
研究分担者			
研究分担者			

## 1. 本研究開始の背景や目的等 (200字~300字程度で記述)

資格取得やキャリアデザインの道筋の明示は、就職難の昨今、学科の大きな魅力のひとつとなり、入試における差別化、少子化の中での学科の生き残りにも役立つのではないかと考えた。そこで、本学科学生のキャリアデザインのための情報を補い、専門職就職を促進するために、学科で取得が推奨されている資格・検定を取得するためのマニュアルを作成・配布した。このマニュアルのキャリアデザインへの役立ち度、就活支援の潜在的ニーズを明らかにし、将来の就職支援について知見を得ることを目的とした。

## 2. 研究方法等 (300字程度で記述)

- ① 学科で取得が推奨されている資格・検定について、難易度、試験対策、就職との関係、将来性、本学内のサポート可能なプログラム、受験経験者の学生もしくはOGのアドバイス、参考資料等を資料としてまとめる。
  - ② ①を「資格・検定取得マニュアル」として編集し、1年生の空間計画基礎論履修学生115名に配布し、アンケート調査によって内容の評価を受ける。この授業は、空間系専攻志望学生が比較的多い授業であるが、専攻未定学生15名、アパレル志望学生も22名含まれている。
  - ③ 就職活動への大学としての支援のニーズをアンケート調査する。
  - ④ ②③を受けて、今後の本学科の学生の資格取得およびキャリアデザインへの提案をまとめる。
- ※ 学園研B申請時に実施を予定していたOGへのキャリアデザインに関するヒアリング調査は、専門職OGの多忙から日程確保に困難を極めたため、資格・検定等に関するアドバイスという形でいくつか原稿執筆を依頼する形に変更した。

### 3. 研究成果の概要 (600字～800字程度で記述)

1月30日に実施された、空間計画基礎論履修者115名を対象とした「資格・検定取得マニュアル」および就職支援に関するアンケート調査からは以下の点がわかった

- 1) 「資格・検定取得マニュアル」には強いニーズがあり、配布は好評であった。資格・検定に関心はあるものの、どこからはじめてよいかわからない学生が思いのほか多いことがわかった。道筋を示すことで、学生のモチベーションをあげることができそうである。
- 2) 資格・検定マニュアルの配布時期は入学前後がよい。
- 3) 専門職志向は強い。それを維持させ、専門職としてのキャリアデザインを容易にするために、進路相談の機会やロールモデルの提示の機会を積極的に増やすべきである。
- 4) 今回は、学科パンフに提示されている資格・検定のみをマニュアルに掲載したが、住宅メーカーの営業職で求められることの多い宅建や、学生の関心の高いTOEICなど、それ以外の資格・検定もいくつか選定してマニュアルに掲載することが望まれていた。
- 5) 今回実現できなかったOGのキャリアデザインに関するヒアリング結果の開示やロールモデルの提示も期待されていることがわかった。

その他、マニュアルの改良すべき項目として、以下の点をあげる。

- 1) アパレル分野では、色彩検定、カラーコーディネーター、TA、TESしか今回は掲載していないが、アパレル分野の実務で有益とされる、ファッションビジネス能力検定試験、ファッション販売能力検定試験、パターンメイキング技術検定試験などその他の資格も取り上げ、分野間のバランスをよくしたい。
- 2) 本学科の伝統的な強みである家庭科教員輩出機能を強化すべく、マニュアルでももっと詳細に専攻分野別に「教職のがんばり方」を明示したい。
- 3) 全体に読み物としても魅力のあるものにするために、イラストや図示、OGや先輩達のコメントやアドバイスを増量したい。
- 4) 具体的な専門職ロールモデルを豊富に提示したい。

本研究によって、「資格・検定マニュアル」の配布は就職支援として有効なツールのひとつであることが確かめられた。自発的なキャリアデザインへの足掛かりとして、入学直後にマニュアルを配布できるよう、学科に提案していきたいと思う。

### 4. キーワード (本研究のキーワードを1以上8以内で記載)

①キャリアデザイン	②資格	③検定	④マニュアル
⑤就職支援	⑥	⑦	⑧

5. 研究成果及び今後の展望 (公開した研究成果、今後の研究成果公開予定・方法等について記載すること。既に公開したものについては次の通り記載すること。著書は、著者名、書名、頁数、発行年月日、出版社名を記載。論文は、著者名、題名、掲載誌名、発行年、巻・号・頁を記載。学会発表は発表者名、発表標題、学会名、発表年月日を記載。著者名、発表者名が多い場合には主な者を記載し、他〇名等で省略可。発表数が多い場合には代表的なもの数件を記載。)

- ・生活環境デザイン学科 H23年3月度学科会議にて報告(2012年3月6日)
- ・生活環境デザイン学科1年生へのマニュアルの配布(2012年1月30日および4月4日)